



熊本地震への支援と、上尾市の防災の備え

7月28日、熊本県を最大震度7の地震が襲いました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。2年前の能登半島地震は真冬に起き、低体温症の危険にさらされました。今回は真夏のため、多くの避難者が猛暑の中、熱中症のリスクと向き合っています。

仮設トイレの衛生など、真夏の避難ならではの厳しさが次々と伝えられ、避難所の生活環境が被災された方々の健康と安心を支える重要な基盤であることを改めて実感しました。

全国では避難所となる小中学校の体育館で、冷暖房の設置率が約3割にとどまります。そうした中、上尾市では令和4年度にすべての整備を完了しました。さらに停電時のスポットクーラーなど、幾重にも備えてまいります。

また今回の熊本地震では、県や近隣市とともに、いち早く職員2名を現地へ派遣し、避難所の運営業務を支援しています。8月初めには、上尾駅と北上尾駅で募金呼びかけ、私も駅頭に立ちました。足を止め、被災地に思いを寄せてくださった皆さまに、心から感謝申し上げます。

街頭募金活動では、多くの市民の皆さまから温かいお言葉をいただき、ご支援・ご協力を賜りました。人の優しさと支え合いの大切さを、強く感じています。

被災された熊本の皆さまが一日も早く安心した日常を取り戻せるよう、上尾市として必要な支援を続けるとともに、市民の皆さまと心をつなぐに応援してまいります。



JR 上尾駅前熊本地震の募金呼びかけました

市長 畠山 稔